

## 選択講習（6時間）

講習名	【選択】教室における発達障害児への関わり方を考える	
実施日時	教室	
7月30日（火）8：50～17：30	未定	
持参物	筆記用具	

### 【講習の概要】

学校場面でみられる発達障害児の行動に対する理解を深め、それへの関わり方を考える。発達障害児の神経心理学的特性についての双方向的講義を受講後、行動上の問題について、模擬事例への対応をグループに分かれて討議する予定である。

### 【講習の目的】

特別支援教室だけでなく通常教室においても発達障害児あるいはその傾向を持った子どもたちの数は少なくない。この講習では、近年、教師には必須の知識といえる発達障害の認知、行動特性を学習し、対応の方法を実践的に学ぶ。

### 【到達目標】

教室で出会う発達障害やその傾向のある子どもたちの行動と認知的特性を理解し、彼らに適した関わりができるようになることを目的とする。

### 【試験方法】

（午前）筆記試験 20分、持込可 （午後）筆記試験 20分、持込可

### 【評価の観点】

- ・発達障害の認知、行動特性に関する基礎知識が理解できたか。
- ・模擬事例を通して学んだ発達障害児への基本的対応が理解できたか。

### 【受講に際しての参考図書】

- ・萱村俊哉 著(2012)『教室における「気になる子どもたち」の理解と支援のために—特別支援教育における発達神経心理学的アプローチ』ナカニシヤ出版
- ・石川道子 著(2015)『そうだったのか！発達障害の世界（子どもの育ちを支えるヒント）』中央法規出版

### 【講習全体スケジュール】

時間帯	内 容
8：50～ 9：10	受付（出席確認）
9：10～ 9：20	オリエンテーション【事務】
9：20～10：20	◆講義＜発達障害の認知、行動特性＞【萱村】 ・ソフトサイン ・中枢的統合の弱さ ・実行機能障害 など
10：20～10：30	休憩
10：30～11：40	◆討論＜教室で出会う子どもたちの行動理解を深める＞【萱村】 ・事例に基づいて小グループで討論する。 ・小グループでの討論結果を発表する。 ・担当者(萱村)がファシリテーターになり全体的討論を行う。
11：40～12：00	休憩
12：00～12：20	★試験（筆記）＜発達障害児の認知、行動特性の理解＞【萱村】 ・講義内容に関する筆記テストを行う。当日の配付資料や個人のメモを参照して論述する。
12：20～13：20	昼休憩
13：20～14：20	◆講義＜発達障害児への具体的支援＞【新澤】 ・発達障害の特性に合わせた学校場面での具体的な支援について
14：20～14：30	休憩
14：30～15：10	◆講義＜行動上の問題への問題解決的アプローチ＞【新澤】
15：10～16：10	◆演習【新澤】 ・模擬事例について、グループに分かれて、問題解決的アプローチにそって討議を行い、ワークシートにまとめる。
16：10～16：40	◆全体交流【新澤】 ・各グループからの発表を行う。 ・質疑応答の時間を設ける。
16：40～16：50	休憩
16：50～17：10	★試験（筆記）【新澤】 ・各自の経験した事例をもとに、障害の特性に合わせた支援または、行動上の問題へのアプローチについて小論文を作成する。
17：10～17：30	事後評価アンケート記入・事務連絡等【事務】

※ 遅刻・早退は認められません。

### 【講師紹介】

担当者	プロフィール
萱村 俊哉	文学部教授（発達神経心理学、障害児発達学、精神保健教育）
新澤 伸子	文学部教授（障害児者心理学（発達障害）、発達臨床心理学、臨床心理学）